



第804号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港福会館 5階

Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622

メール roren@knsu.jp

ホームページ http://knsu.jp/

全国検数労働組合連合
書記局

第11回 検数労連25春闘交渉13:30~14:30

2週間ぶりの交渉再開。前回から今日までの間、企業内での労使折衝を重ねたなかで労組は政治的判断の上に立ち、現到達をもって機関手続きに入る旨を表明。

25春闘賃上げ回答（日検協会最終回答）

2025年3月31日以前に採用した職員の賃金引上げに関し、次の通り回答する。

1. 本給

(1) 定期昇給 一律 3,000円とする。

(2) 定率昇給 一律 2.8%とする。

2025年3月31日時点の本給に定率を乗じた額とし、10円未満が生じた場合はこれを切り上げる。

(3) 年齢調整給 19才 1,000円とする。

なお、年齢は2025年4月1日現在の満年齢とする。

2. 時間外算定基礎分母

現行150時間を149時間とする。

3. 2025年度初任給

164,000円とする。（高卒18才）

4. 実施時期

協定時に在籍している者を対象者とし、2025年4月1日より実施する。

【日検協会】

6月4日（水）前回の交渉から2週間が経過したなかで第11回検数労連25春闘交渉が再開されました。この間、組合は日検協会との折衝を重ねてきたなかで、あらためて本日の交渉で修正回答を求めました。

前回の交渉以降、対角線での労使折衝等を重ねたなかで今日の交渉再開となり、労組から現回答に対する修正を求められているが、今賃金引上げの回答構築における考え方は、これまでの交渉でも繰り返し説明してきたとおり、未だ解決の見えない米国との関税措置を巡る問題や、長期化するスエズ運河問題による海運会社への影響により、今後の事業収益の見通しが不透明ななか、先週末の労使政策委員会でも労使の話し合いがもたれた中古車放射能測定業務の方向性も見えない。損保査定業務における自動化の問題など検査関係に

【組合主張】

おいても大きな不安要素を抱えている。こうした事業収益における懸念材料を多々抱えている状況にあっても、未だに続く諸物価高騰による従業員の生活負担を支え、決して一時的なものではなく将来的にも安定した生活基盤を築くことができるよう、中長期的な経営見通しも含め慎重に検討したうえでこの回答であることを改めて申し上げる。

組合は日検協会からの回答を受け休憩を挟みながら検討した結果、これ以上の修正を引き出すことは困難と判断し、現到達をもって機関手続きに入る旨を表明しました。

【日検協会に対して】

深刻さを増す物価高騰のもと職場が強く求めてきた賃金引上げ額には程遠い結果となった。特に『収益重視による一発回答』に固執する経営姿勢に大きな不満を残す結果となった。

若年層の一部が前年比で下回っており極めて不満である。以上、25検数春闘は不満が残るものの政治的判断の上に立ち、現到達をもって機関手続きに入ることを表明する。

次回交渉：第12回検数労連25春闘交渉 6月9日（月）10時～

日検協会関係の地域闘争委員会においては、25春闘中闘見解に対する意見を6月7日（土）12:00までに中央本部へFAXまたはメールにて報告すること。